

十勝 Tokachi Shimizu 清水

最高のぜいたく、育てています。



Tokachi Shimizu

2022年
年末年始合併号
353号

目次

- 02. すこやかファミリー
 渡辺さんファミリー
- 03. 年頭のごあいさつ
- 09. イベント・ニュース・トピックス
- 10. 十勝清水町の土壌断面
- 12. しみず有機の散布について
- 13. 理事会の動き
- 14. イベント・ニュース・トピックス
- 18. クロスワード
- 19. 十勝清水の恵み給食週間
- 20. 今月の職員さん・今月のメニュー



踊るの大好き♪



Agricultural Cooperative Association Magazine

自然と環境 人と人とのつながりを大切にしています。

 十勝清水町農業協同組合

組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。幸多き新春をご家族とともに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大が猛威を振るい何度も緊急事態宣言が発令されるなど激動の一年でもありました。更に、年末には新たな変異株確認により世界中で大きく影響が出ており、今後も影響の長期化、感染拡大への不安はありますが、この難局を乗り越え克服し活気ある生活を取り戻すべく共に尽力して参ります。また、引き続き、国民の生命・健康維持に最前線で従事頂いております医療関係者の皆様方に心より敬意を表し感染防止に取り組んでいくこと

も必要と考えております。

私たち農業者・農業団体は、この情勢下の中において生産者の農畜産物に対する影響は甚大なものであり、本年も不安材料を抱えた中での新年となりました。先が見通せない中、この危機を乗り越えるべく系統一丸となった取り組みを実践していかねければなりません。JAグループとしても「国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産する」という「国産国産」を発信し皆様方の理解をお願いしております。

特に年末における酪農情勢については、新型コロナウイルスの影響により、学乳や外食産業の需要が減少し飲用向けの減少

に伴い、乳製品向けを増加した中で繁忙期を乗り越えてはおりますが、加工乳製品（特に脱脂粉乳・バター）の在庫が積み上がった状況であり、国やホクレンによる海外品との置き換えと新需要開拓対策に頼る状況が当面続くも解消には複数年かかり、既に来年度の生乳生産については目標設定による抑制も全道での「運動」として取り組むことが決定しております。

また、全ての農畜産物について生産・消費ともにJAグループが一丸となりこの難局を乗り越えなければならず、組合員皆様方の安心して生産できる環境、そして安定的な経営を維持し持続的な農業を展開できるよう取り組んで参ります。



令和4年 年頭にあたり
北海道農業協同組合中央会
十勝清水町農業協同組合

副会長理事 串田 雅樹
会長理事

- 十勝清水町農業協同組合 (敬称略・順不同)
- 会長理事 串田 雅樹
 - 代表理事 水見 隆雄
 - 専務理事 赤間 富秋
 - 常務理事 秋野 勝由
 - 特認理事 金子 達也
 - 特認理事 今野 典幸
 - 理事 須田 巧
 - 理事 白川 雅浩
 - 理事 新居 義晴
 - 理事 中村 茂隆
 - 理事 口田 靖明
 - 理事 玉川 学
 - 代表理事 大石 英昭
 - 監事 橋本 晃明
 - 常務理事 宮崎 正則
 - 参事 富樫 和之
 - 職員一同

迎春

最高のぜいたく、育てています。



すこやかファミリー



北熊牛1
渡辺 すずちゃん (2歳4ヶ月)

～お母さんからのメッセージ～
おませさんで愛嬌たっぷり
とってもかわいいすずちゃん
これからも周りのみんなの
癒しになってね♡

お喋りが大好きなすずちゃんは、「ケンカはやめて!」と言いながら、お姉ちゃんとお兄ちゃんのケンカの仲裁に入るときもあるそうです。

雅美さんに子育てについてお話を伺ったところ「年の離れた末っ子なので、家族みんなに甘やかされぬくぬくと育てています。泣き虫でママっ子ですが、上の子たちから日々色んなことを学んでいるので、聞き分けが良く助かっています。最近はずきょうだい3人で一斉に話し出すので、誰の話も耳に入ってきません。。。と教えてくれました。

- | | |
|--------|---------|
| おとうさん | 渡辺 慎平さん |
| おかあさん | 雅美さん |
| おねえちゃん | 一華さん |
| おにいちゃん | 新さん |
| おばあちゃん | 晃子さん |

家族の健康

『飲酒と睡眠の関係』

健康科学アドバイザー ● 福田千晶

農作業の後の飲酒が楽しみな人は多いでしょう。「飲んだ後はぐっすり眠れる」と言う人も多いようです。しかし、飲んで寝ると夜中に目覚めてしまう悩みもあります。アルコールは脳の活動を抑えるので、飲んだ後はリラックスして寝付きやすくなります。寝付いてしばらくは、アルコールが分解されて発生するアセトアルデヒドの作用で、レム睡眠（体は休んでいるが脳は活動している浅い眠り）を抑えて深く眠れます。しかし、睡眠の後半になると、その反動でレム睡眠が多くなるため、小さな刺激でも目覚めてしまいがちです。浅い眠りの期間には、わずかな物音や明かり、同室者のいびきや寝息、屋外の鳥のさえずりなどで目が覚めることがあります。また、飲んで寝ると睡眠中に尿意を感じたり、喉が渇いたりすると、すぐに目覚めてしまいます。飲酒後の睡眠中は、筋肉が緩んで喉がふさがりやすく、呼吸が一時的に止まり（無呼吸）、苦しさで起きてしまうこともあります。普段から睡眠時無呼吸症候群の人は、特に飲酒後の睡眠中に呼吸が止まりやすくなります。



おいしくアルコールを飲んで、リラックスして良い気分になり、ぐっすり眠るところまでは良いですが……、睡眠途中で目覚めてしまいが……、その後は寝付けず睡眠が不完全なまま朝を迎えることになりかねません。そして、日中になって疲れや眠気を感じるようになります。飲酒量が増えたり、飲酒習慣の期間が長くなると、その傾向は増強されます。アルコールは少量を楽しむにどめ、量を増やさないことが大切です。週2日は飲酒を控え、「飲まなくても過ごせる」「飲まなくても眠れる」と自信を持ち、アルコールに依存しない意識も必要です。

農業者が安全・安心な農畜産物を一般消費者へ安定的に供給すべく、これからの北海道農業のあり方、北海道農業生産基盤強化、家族経営基盤強化など、課せられた責務に対し道連役員として尽力していく所存であります。また、地域農業としては、農業生産現場の実情、問題、課題、求めているものなどを組合員から地域理事として、当JA会長理事として集約、把握し効率よく効果的な政策、要請、意見へと反映し農業経営の安定化、所得向上、清水町農業の発展のため努力して参ります。

当農協事業におきましては、国による「みどりの食料システム戦略」に掲げる一部は、既に過去より実践しており、特に「土づくり」から始まる取り組みについては、引き続き、地力向上から持続可能な農業、後世へ永年肥沃な農地継承・安定生産基盤継承を目指して参ります。また、農協の社会的責任・貢

献・経済活動から、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」「持続可能な食と地域づくり」として、現在団体が求められるSDGs、脱炭素、環境保全を考えた取り組みへの貢献も期待されており、一般消費者理解、地域社会貢献へと発展できるものと確信しております。

世代は移り変わり、時代背景、情報集約力、先進事例、多様なニーズなどにより協同組合の果たすべき役割を再度考え直し、原点である相互扶助の継承、組織力、事業集結力を実現させるため、対話を通じた信頼関係により将来強固な農業協同組合を構築すべく積極的な活動を展開して参ります。また、当JA事業を支えている正組合員のほか、准組合員の皆様方の制限内での一定の事業利用料により運営しております。農業・農畜産物を通じて地域社会の発展、地域住民との積極的な関係づくりがこれから益々の組織発

展、地域貢献へ寄与する取り組みとして考えなければなりません。ゆえに、農協に課せられた使命、期待、地域の主軸団体としての責務、基幹産業の農業・農業者の発展へ役職員一丸となって取り組んで参ります。

本年は天候に恵まれ、大きな災害もなく、農作業事故無く、組合員皆様及びご家族がご健勝で豊穡の秋を笑顔で迎え、今後更なる発展と成長を目指す希望あるすばらしい1年と成りますようご祈念申し上げ念頭の挨拶と致します。

十勝清水



令和4年 年頭にあたり
十勝清水町農業協同組合
代表理事組合長 氷見 隆雄

組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。幸多き新春をご家族とともに迎えられることを心よりお慶び申し上げます。

昨年は、依然として新型コロナウイルス感染の猛威が継続し、営農、生活が脅かされていた1年でもありました。本格的なワクチン接種が開始し年末には減少傾向となり徐々に動きも見られるようになりましたが、新たな変異株確認により予断を許せない状況でもあり今後の対策継続を実践し活気ある希望に満ちた生活を取り戻すべく取り組んで参ります。引き続き、国民の生命・健康維持に最前線で従事

頂いております医療関係者の皆様方に心より敬意を表し共存による新しい生活様式に目を向けていかなければなりません。

私たち農業者・農業団体は、この新型コロナウイルス感染拡大の終息が見えない中、その影響は計り知れないものとなって私たちに影響を与えております。生活スタイルの変化、インバウンド需要減退、外食産業低下などにより農畜産需給バランスが崩れ、組合員の生産物在庫過多となる事態となっております。私たち農業者と農業団体は、先が見通せない中、この危機を乗り越えるべく系統一丸となった取り組みを実践してい

なればならず、私たち当JAにおいても単協で出来る限り取り組んで参ります。

このような中、特に酪農情勢については、道内含め増産傾向で推移してきた中で新型コロナウイルスの影響長期化、需要低迷により乳製品等在庫増加、学乳・外食産業等の飲用需要の大幅低下により年末は処理不能乳発生が危惧されておりました。年末に関しては、何とか回避できたもののこれからの年度末に關しても同様の不安を抱えていることは事実であり、改善に時間を要する見通しの中で、生産・消費拡大共に系統として更なる団結が必要となります。

なればならず、私たち当JAにおいても単協で出来る限り取り組んで参ります。

- (地区営農集団)
上清水地域振興会 会長 吉野 進
字清水協議会 会長 斉藤 孝司
下佐幌地区推進協議会 会長 中村 勲
下人舞地域振興会 会長 白石 哲也
人舞地域振興会 会長 梶山 貴史
北熊牛連合会 会長 竹中 朗伸
熊牛地域連合会 会長 森島 浩二
松沢連合会 会長 深谷 康裕
美蔓地区連合会 会長 高田 雅人
御影地域連合会 会長 上谷 雅俊
羽帯地域連絡協議会 会長 大石 幸徳
上羽帯地区推進協議会 会長 浅水 裕介
旭山地域振興協議会 会長 中村 義春
(生産組織)
農業機械部会 会長 泉谷 哲人
酪農部会 会長 境野 浩行
農産部会 会長 口田 靖明
(酪農・畜産)
清水町養豚振興会 会長 奥秋 紀克
清水町ホルスタインクラブ 会長 高橋 喜一
十勝清水町肉牛振興会 会長 藤谷 竜也
(農産・野菜)
下佐幌地区委員センター利用組合 組合長 中村 茂隆
御影地区委員センター利用組合 組合長 土橋 光徳
美蔓地区委員センター利用組合 組合長 那須野裕一
清水町種子馬鈴薯採種組合 組合長 岸田 福伸
清水町豆類種子生産組合 組合長 堀川 寛
清水町秋播小麦採種組合 組合長 森 一広
清水町馬鈴薯生産組合 組合長 那須野裕一
清水町蔬菜振興会 会長 吉野 進
十勝クリーン大豆生産組合 組合長 中村 勲
(一般)
清水町農民連盟 委員長 高田 秀昭
清水町農村連盟 委員長 小竹 浩之
ホクレン原料所 所長 泉 佳史
JA十勝清水町青年部 部長 滋谷 耕大
JA十勝清水町女性部 部長 西山 幸子
十勝清水町 ほか役員一同

十勝清水

昨年を振り返りますと、春先は天候に恵まれ、概ね農作業自体は順調に推移致しましたが、初夏からの早魃により生育が停滞しているところに7月中下旬の高温が重なり、畑作物や野菜等では一部甚大な被害が発生致しました。夏場以降の生育状況は回復傾向となり品目別には期待を上回る結果となるものもありました。

農産物として、秋まき小麦につきましても、播種作業は順調に進み、根雪までの積算気温が平年より高かったことから、越冬前の茎数は十分に確保されました。越冬後、雪腐病の発生はありませんでした。3月の気温が高かったため、起生期は平年より早く茎数は多い状況で推移致しました。

その後の積算気温と日照時間が平年並みで推移し、開花期も天候に恵まれたため稔実粒数は多くなりましたが、7月の高温・早魃により登熟期間が短くなり、きたほなみとはるきらりは若干ではあります。細麦傾向の品位となりました。収量は平年を大きく上回り製品反収は、きたほなみ10・33俵（1等Aランク）、ゆめちから10・23俵（1等Aランク）と豊作の年となりました。

冬期間の積雪がほとんどなかったことから、凍害による枯死株や生育不良株が発生し、さらに6〜7月の早魃の影響により玉の肥大が緩慢となりました。入荷量は前年を若干上回りましたが、総体的に小玉傾向となりました。

天候に恵まれたため稔実粒数は多くなりましたが、7月の高温・早魃により登熟期間が短くなり、きたほなみとはるきらりは若干ではあります。細麦傾向の品位となりました。収量は平年を大きく上回り製品反収は、きたほなみ10・33俵（1等Aランク）、ゆめちから10・23俵（1等Aランク）と豊作の年となりました。

てん菜につきましては、播種作業・移植定植作業は早く始まり最盛期は平年並みとなりました。出芽はおおむね良好となりましたが4月30日の大雨により低地土の直播圃場の一部クラストによる被害が発生致しました。6月以降の高温・早魃の影響により生育は停滞しておりますが、8月以降は回復し、反収6・89t、糖分16・2%と平年を上回る糖収量が見込まれて

酪農につきましては、前述した影響下の中、町内の生乳生産につきましても、7月後半から8月初旬の猛暑により一時減少したものの、全体としては安定的に増加（前年比102%）しております。乳価については乳製品の出口対策もありプールで約2円程度の値下がりでも推移しております。

個体販売につきましては、ホル雌資源の増加により市場への上場頭数が増加、また初妊牛頭数が増加したこともあり値下がりとなり、肉用素牛についても新型コロナウイルスの影響により、一時は牛肉の消費が落ち込み枝肉価格の低下もありました。国の対策もありコロナ禍前まで持ち直しつつある状況であります。

昨年が一番草は、6月初めから収穫し天候にも恵まれ収量は

おります。

馬鈴しょにつきましては、植付作業は平年よりやや早く始まり萌芽期までは順調に生育致しましたが、6月からの早魃と7月の高温により早生系品種では、肥大が進まず小玉傾向で収量は平年を下回る結果となりました。中晩生品種については、品種、圃場毎の差はあるものの、高温・早魃の影響は少なく平年並みの収量となりました。馬鈴しょ全体としては平年を下回る収量となりました。

豆類につきましては、好天により播種作業は順調に進み出芽も良好となりました。出芽後も気温・日照時間に恵まれ生育は順調に進んでおりましたが、大豆、小豆では7月中旬以降の高温・早魃により一部圃場では花落ちが見られ莢数は平年よりやや

やや少ないものの良質であり、二番草は猛暑の影響により収量が少ない状況でありました。デントコーンについては例年に比べやや背が低いものの収穫も順調に進み良質であり、今後生乳需給バランスの不安要素等はありませんが、酪農家皆様の生産に対するご努力・酪農基盤の強化によりまして、生乳生産量が3年連続で14万トン達成することが出来ましたことに深く感謝申し上げます。

農協運営につきましては、昨年総会にて皆様方に御承認いただきました新たな地域農業振興中長期5カ年計画に基づき実践して参ります。前計画の課題、問題を洗い出し、組合員アンケートに基づく重要課題の整理した中での実践であります。新型コロナウイルスの長期化により特に計画進捗に注意を払い

や少なく、品位は大豆、小豆、金時ともに小粒傾向となりました。収穫は大豆が平年より早く、小豆は平年より遅いスタートとなりましたが、大豆、小豆の反収については平年を上回る収量となりました。

アスパラガスは、4月の適度な降雨と高い気温に恵まれ例年より早い収穫予想でしたが、5月上旬からの低温、強風、遅霜の影響で例年より10日ほど遅い週末になると低温になるなどアスパラの生育環境には厳しい年となりました。販売単価は1,500円/kgと例年より高値ではありましたが、面積の減少により取扱量は1割程度減少となりました。ブロッコリーにつきましても、大きな病害虫の発生もなく取扱量、販売金額は昨年並みとなりました。白菜につき

ながら運営して参ります。また、新型コロナウイルス影響の長期化、感染状況、経済動向、政策動向により農畜産物全体に与える影響は大きく組合員皆様方の生産に対する不安、消費拡大運動に対し当JAとしても系統と歩調を合わせ最大限取り組みで参ります。組合員皆様方が安心して生産し安定的に持続可能な経営が行なえるよう役員一丸となって取り組んで参ります。

本年は天候に恵まれ、大きな災害もなく、農作業事故無く、組合員皆様及びご家族がご健勝で豊穣の秋を笑顔で迎え、今後更なる発展と成長を目指す希望あるすばらしい1年と成りますようご祈念申し上げます。と致します。





令和4年の年頭にあたり
北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 小野寺 俊幸

新年あけましておめでとうございませう。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しても、改めて敬意と感謝を申し上げます次第であります。

昨年の北海道農業につきまして、春先は天候に恵まれ順調に推移したものの、7月〜8月にかけての長期間の猛暑や少雨による干ばつ、また、9月に発生した雹や大雨により、一部の地域や作物によっては、生育が大

変、心配されたものの、おおむね平年作を確保することができました。

しかしながら、一昨年から引き続き、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食の需要減少等の影響により、各作物の消費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が国内にも影響があり、農作業の人材確保にも大きな課題となっておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAグループ北海道と

してしっかりとその対応を図ってまいります。

昨年は第30回のJA北海道大会を開催し、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」という将来ビジョンが決議されました。

コロナ禍やデジタル化への対応、SDGsへの貢献、信用・共済事業をはじめとしたJA経営を取り巻く事業環境への対応など、北海道農業、JAグループ北海道を取り巻く環境が急激に変化しており、このような環境に適応していくには、改めて、協同組合運動の原点である「対話」を通じて、実践方策を設定し、実践と改善をくり返す

ことで、変化の波をJA運営に取り込んでいくことが必要であり、組合員・役員が丸となってしっかりと取り組んでいくことが重要となります。

結びになりますが、本年は壬寅年です。十干の「壬」は陽気を下に宿すという意味を持っており、生命の誕生を宿す意味を表します。一方、十二支の「寅」にも壬と同様で、草花が伸びようとする状態を表しています。この謂われにあやかり、本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

「テイクアウト応援フェア」

11月8日から12月28日の日程で『テイクアウト応援フェア』を当JA主催で開催しました。

今回のイベントは、趣旨に賛同いただいた清水町内の参加協力17店舗へ当JAより特産品（十勝清水にんにく、十勝若牛）を無償提供することで新たに創造する料理開発に貢献し、地域活性化を図る他、環境に配慮し、SDGsの達成や脱炭素に取り組みながらコロナ禍でも開催が可能なテイクアウト

トを主とした内容で行い、開催期間中は、当JAの特産品などが当たるスタンプリーやテイクアウト容器的洗浄と回収にご協力いただいた利用者の方に10%割引券をプレゼントするなどしました。コロナ禍での開催でしたが、生産者と一体となって環境に配慮し、地域を支える飲食店と地域医療従事者への支援となるようなイベントを企画することができました。今後もこのような取組みを積極的に行って参ります。



主催者・共催者（主催：JA十勝清水町・蔬菜振興会にんにく部会・十勝若牛生産組合・清水町 共催：清水町商工会・清水町観光協会）より医療機関関係者代表の清水赤十字病院 藤城 貴教 院長へ無料引換券を贈呈



医療法人社団 たい内科 臺 一泰 院長
医療法人社団 星光会 御影診療所 荒井 正昭 院長
医療法人 前田クリニック 前田 憲志 院長

「経済部 大感謝祭」

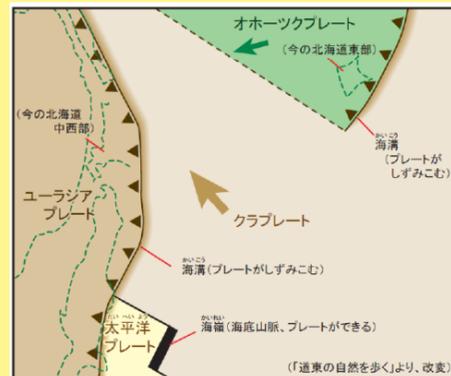
11月18・19日、生産資材店舗・倉庫前にて、組合員の経済事業へのご利用・ご協力に感謝し「大感謝祭」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地区ごとの日程を設けて、各メーカーからは、自動車・カー用品・バッテリー・ガス器具・スツール・トラクター・作業機・工具類・焼却炉・除雪機・消耗品等、経済部より防寒衣類・防寒長靴・ペットフード、企画室より各種加工品など、盛沢山の内容となりました。

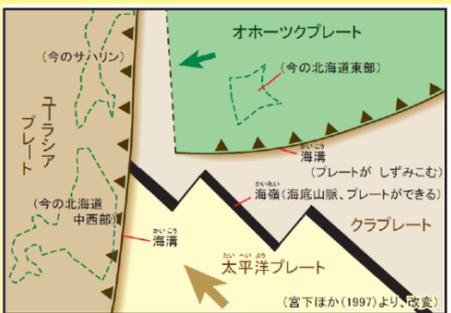
普段直接触れる機会の無い機器等の実物を前に、メーカーの担当者との具体的な相談が出来る機会となっていました。



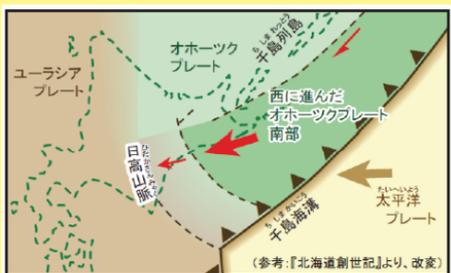
プレート移動で隆起し形作られた
北海道・十勝の地層イメージ



約6,500万年前のプレート。海や陸は省略してある。北海道の東部になるところは、北海道西部や本州になるところとはなれていた。



約5,500万年前のプレート。オホーツクプレートがユーラシアプレートに近づき、また、太平洋プレートと熱い海嶺が北上してきた。

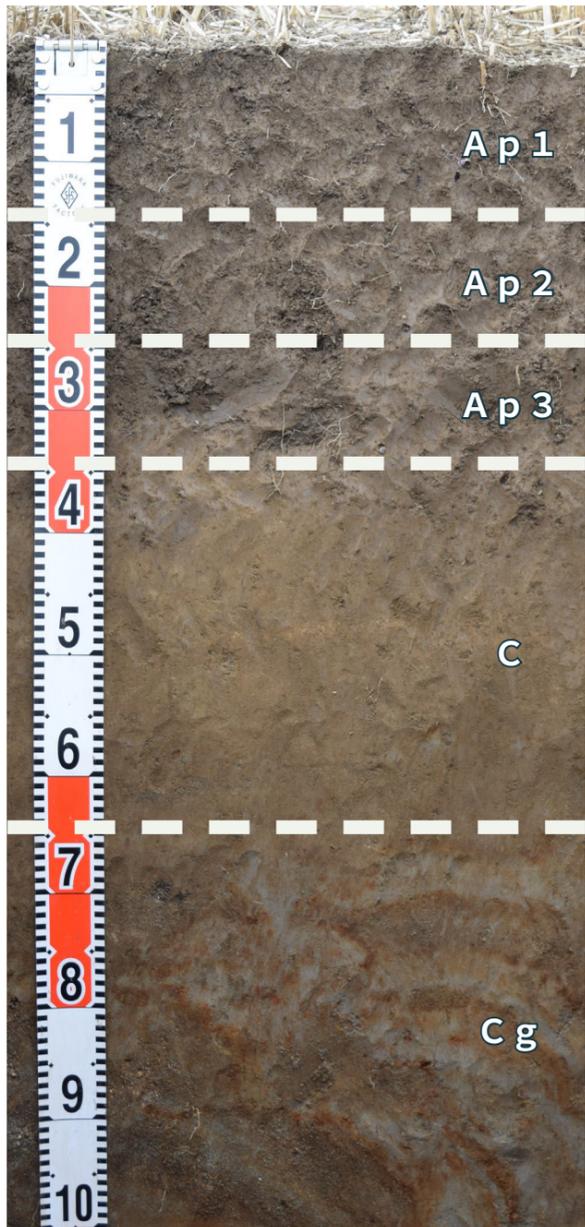


1,000万年前ころ、オホーツクプレート南部が北海道にしようとした力で、地下深くの地層がつき上がり、日高山脈になった。

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部ウェブサイト
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/tisui/kds/pamphlet/tab/ctl1r00000038me.html> (時をこえて十勝の川を旅しよう!) より

長い時間をかけて、各プレートが移動し隆起した大地を、十勝川をはじめとした川が削り取ることで、清水町特有の段丘が出来上がっており、地域ごとに土壤断面も大きく異なっています。

各土壌の特徴を把握して、持続的な営農へ向けた圃場管理へ結びましょう。



十勝川左岸（北松沢）の低地

- Ap層** A層は土壤断面最上部にあり、植物の根や残渣の供給を受け、それが腐植となって暗色、黒色を呈している層位。
pはその層位が人為的に耕起、攪拌されていることを示す。
- Cg層** C層は土壤生成作用をほとんど受けていない母材からなる層位。
gは土壤中の鉄が酸素欠乏状態で灰色となっていることを示す。
- CEC** 土壌が石灰や苦土、カリウムなどの肥料成分を吸着保持できる最大量のこと。
- 土壤硬度** 21以上で作物根の伸長が阻害され、25ではほとんど伸長できない。

十勝清水町の土壌断面

川沿いの低地に分布する褐色低地土



帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター

教授 谷 昌幸

1968年大阪市生まれ
1995年帯広畜産大学助手着任、
2015年から現職

河岸段丘の位置によって土壌が異なる

十勝地域には「河岸段丘」と呼ばれる地形が発達しており、段丘のどの位置かによって土壌の成り立ちや特性が大きく異なります。河岸段丘とは、川の流れて沿ってできた階段状の地形のことであり、川と同じ高さの低地、低地から一段上がった低位段丘、さらには上がった中位段丘や高位段丘などがあります。十勝地域は地盤が全体的に隆起し続けており、地盤が上がって川が地面を削り取ることで階段状になっていきます。低位段丘は約1万年前、中位段丘や高位段丘は数万年から数十万年前に隆起した場所になります。

川と同じ高さの低地

十勝清水町には、十勝川やサホロ川などの大きな川が流れており、これらの川と同じ高さの場所には低地が広がっています。低地には、川がしばしば氾濫することによって上流から運ばれてきた土砂が堆積し、平坦な氾濫原という地形ができます。川沿いの低地に平らな畑が多いのは皆さんもご存知ですよね。

砂質な褐色低地土

十勝川左岸（北松沢）のM農場コムギ跡場で土壌断面調査を行いました。川が運んで

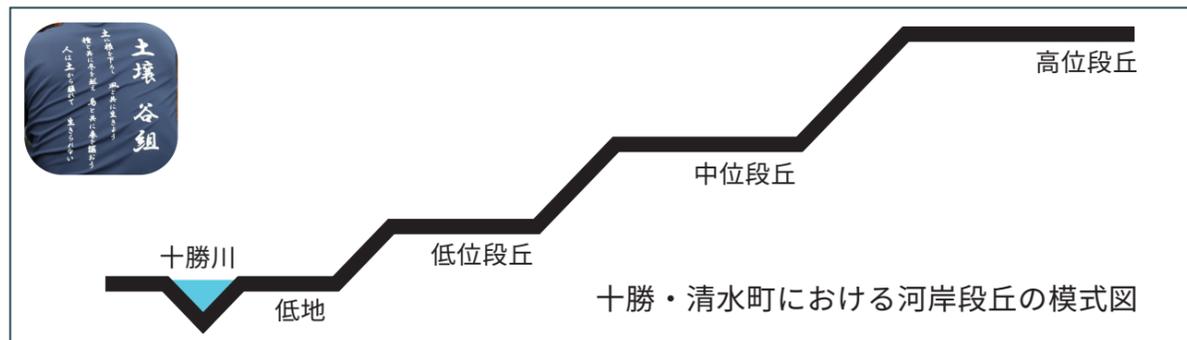
きた土砂からできた「褐色低地土」と呼ばれる土壌です。

表面から深さ39cmまではプラウで耕起された層で、上からAp1層、Ap2層、Ap3層の3層に分けられます。どの層も砂が多く、やや暗色なので腐植物質を多少は含んでいることが分かります。ただし、基本的には砂質で陽イオン交換容量（CEC）は低くて保肥力が弱いので、肥料や生堆肥などを大量に施用すると流れ出てしまう危険性が高く、とくに窒素肥料は数回に分けて施用したり、緩効性肥料を併用したりすることが大切です。

下層には地下水による斑鉄

また、土壌硬度計で硬さを測ったところ、Ap1層とAp2層は20未満と軟らかいのに対し、Ap3層は26と非常に硬く、プラウによる繰り返しで耕盤層ができていました。このAp3層が表面から入る水の排水性を悪くしている可能性が高く、土壌が乾いている時に深さ40cm位まで心土破碎する必要があります。

下層に目を向けると、深さ70cmあたりから下のCg層は赤っぽい色と灰色っぽい色の土壌がまだら模様になっているのが分かります。「斑鉄」と呼ばれ、この断面では根の跡などに管状の斑鉄があるので、地下水が上がってくるによりできたと考えられます。逆に言えば、表面から深さ70cmまでは地下水の影響をあまり受けておらず、酸素が十分にあるので作物の根が入りやすい環境にあります。礫も見当たらず、耕盤層さえ壊せれば、クセの少ない扱いやすい土壌ではないでしょうか。



十勝・清水町における河岸段丘の模式図

理事会の動き

第7回（11月26日開催）

○付議事項

- ・(有)清水町農業サポートセンター株式取得に関して
- ・組合と理事との利益相反取引（経営所得安定対策）
- ・令和3年度農業年度対策費の支出
- ・固定資産の取得（経済部定期配送車）
- ・出資金の一部譲渡
- ・地域別懇談会の議案
- ・年末手当の支給について

○協議事項

- ・固定資産取得（経済部農業貯蔵施設）
- ・十勝乳遠隔監視記録システム情報端末の更新
- ・令和2年度瀬原馬鈴薯共計本精算の取進め
- ・令和3年度食用加工馬鈴薯共計概算金の取進め
- ・令和3年度甜菜の出荷状況
- ・令和3年度甜菜全道共計概算金
- ・令和3年度甜菜貯蔵手当て年内支払い
- ・令和3年度交付金大豆の調整方針
- ・令和3年度小麦品価格付け係数（個別配分）の設定
- ・令和3年度小麦品代概算金
- ・令和3年度小麦タンク格差金

○報告事項

- ・記載組合員の加入脱退
- ・令和3年度豆類の集荷状況
- ・令和3年度にんにく共計概算金の取進め
- ・令和3年度野菜主要3品の取扱状況
- ・土壌病害虫対策事業の状況
- ・生乳出荷、乳質状況
- ・(株)十勝清水フードサービス第2四半期決算

第8回（12月24日開催）

○付議事項

- ・組合と理事との利益相反取引
- ・次期生乳安定生産対策に係る概算予算措置
- ・令和4年度営農計画書基準単価設定
- ・令和4年度農業年度奨励対策
- ・文書管理規程の改正及び電子取引データ取扱要領の制定
- ・出資金の一部譲渡

○協議事項

- ・地域別懇談会の意見集約

○報告事項

- ・会計監査人再任の内定報告
- ・組合員の加入及び脱退
- ・令和3年度小麦2次概算及び現物取引表1次概算
- ・令和3年度甜菜生産量実績
- ・令和3年度直播たまねぎ試験栽培の結果
- ・令和2年度小麦全道共計本精算
- ・令和2年度大豆全道共計本精算
- ・令和2年度瀬原馬鈴薯共計本精算
- ・令和2年度にんにく共計本精算
- ・生乳出荷、乳質状況
- ・活力ある職場づくりに向けた労働環境に係る自主点検
- ・令和3年度農協取扱高調査

お世話になりました

長年にわたりご指導いただきありがとうございました。組合員の皆様の今後の発展とご健勝をお祈りしています。

令和3年10月31日付
御影支所 管理金融 石原 瑞己

令和3年12月31日付
金融部 信用貯金課 川島 香織
農産部 西十勝農業センター 小林 宏匡

JAへ100%就職

令和4年度第二次学生募集

- 募集人員 15名程度(定員60名) ●男女共学 ●1カ年、全寮制 ●週24歳未満(令和3年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:令和4年2月5日(土) ●願書受付:令和4年1月5日(水)~1月25日(火) 消印有効
- 学校見学もできます

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人
北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417 【JAカレッジ】で検索



農産部 農産課
みかみ 文一

- ① S 61年5月17日（35歳）
- ② 清水町
- ③ 清水高等学校・帯広高等技術専門学院
- ④ ドライブ・バイク
- ⑤ 生産者から消費者をつなぐ担い手として安全安心の食を提供できるよう頑張らせて頂きますので、皆様宜しくお願い致します。

組合員の皆さん、よろしくお願ひします
(令和3年11月1日採用) 十勝清水

散布料金

※税別、品代別です。一年間の合計散布面積で精算致します。

申込み面積	散布料金 (10aあたり)
10ha以下	600円
10～30ha	500円
30ha以上	400円

散布時期

4月～10月頃

※申し込み状況や天候により散布ができない場合がありますのでご了承ください。

散布機械

牽引式ライムケーキスプレッダー

タンク容量…しみず有機 2.5t 散布時間…約10分/ha



- ◎散布に使用するしみず有機は、堆肥化施設から圃場や倉庫に直接配送します。購入済みのものを散布することもできますのでご相談ください。
- ◎しみず有機は500kg単位での購入となりますので、ご了承ください。
- ◎牧草新播はタイヤ跡や捲る可能性があるため散布できません。

★しみず有機の成分と効果★

窒素	リン酸	カリウム	C/N比	水分		
2.2%	5.0%	3.0%	10	22.7%		
カルシウム	マグネシウム	鉄	マンガン	亜鉛	銅	
16.7%	1.9%	0.4%	566ppm	445ppm	64ppm	

- 十分に腐熟化させているので、不快臭や雑草、病原菌の心配がありません。
- 土壌への有機物の施用は、土壌中の中小生物や微生物の活性を高め、病原菌や有害微生物の増殖を抑制します。
- 腐熟化した堆肥に含まれる物質は、土壌の通気性、透水性、保湿性を高め、団粒化構造の発達を促進します。また、緩衝力や保肥性を高め、植物への養分可給性や生理活性を向上させる働きがあります。
- しみず有機に含まれるリン酸、カリウム、カルシウム、マンガンは95%以上、マグネシウム、亜鉛は約80%、鉄は約30%以上が水溶性またはク溶性です。

お問い合わせ・ご相談は、経営指導課まで
電話：0156-62-2163 FAX：0156-62-6223

十勝清水

JAグループ北海道／役職員
牛乳／乳製品消費拡大運動

MOOっと牛乳を飲MOO!

役職員は1日1杯
来客会議は牛乳で
ヨーグルトを食べて免疫力UP!
家族・親戚・友人に呼びかけ
Let's Try!

役職員は、1日1杯(200ml)以上を目標に牛乳を飲もう!
(牛乳が苦手な場合はコーヒーに牛乳を入れて飲んだり、乳製品を口にする)
来客時、会議時に提供する飲料は牛乳としよう!
家族・親戚・友人に、牛乳製品を手に取り、口にするよう呼びかけよう!
牛乳乳製品を使ったレシピ動画を参考に、消費を促そう!

Check! ミルクランド北海道がお提供する北海道の美味しい牛乳乳製品を使ったレシピ動画を配信!

QRコード

ミルクランド北海道による消費拡大への取り組みチラシ

十勝管内JA・連合会向けの取り組み案内

十勝管内JA・連合会 役職員のみなさまへ

年末年始の処理不可能乳の回避に向けて、
十勝型「#1日1L」に取り組もう!

● 年末年始は学校給食が休みになること等で需給が緩和
● 処理不可能乳の回避には飲用消費の拡大が急務
● Jミルクは、年末年始に毎日牛乳を1日1L購入する「#1日1L」を展開(左のチラシ)

なかなか1日1Lは難しい...そんな方には、**十勝型「#1日1L」**
ルール①: 牛乳・乳製品の組み合わせで1日1L相当の消費を目指す。
ルール②: 必ず牛乳を組み合わせる(牛乳が苦手な場合は乳製品だけでもOK)

6Pチーズ1個(約20g) 生乳約200ml相当	たとえば...これで達成、MY「#1日1L」
切れたバター1個(約10g) 生乳約200ml相当	【朝食時】 コップ一杯の牛乳200ml トーストにバター1個 6Pチーズ1個 ヨーグルト1個 合計 生乳700ml相当
ヨーグルト1個(約100g) 生乳約100ml相当	【昼食時】 コップ一杯の牛乳200ml ヨーグルト1個 合計 生乳300ml相当

「牛乳／乳製品 消費拡大運動」について

年末年始はもちろん、3月末も含めて牛乳／乳製品の消費拡大が大変重要な情勢です。

JAグループ全体の取り組みはもちろん、業界・消費者も一体となった取り組みとなるよう、運動として声かけを継続していきます。

十勝清水

Jミルク(一般社団法人Jミルク)からの生乳需給に関する大切なお願い
(詳細はホームページもご確認ください)

全国の酪農乳業関係者、一人ひとりの力が必要です。

大切なお願い

新型コロナウイルスの影響が続く中、牛乳乳製品の需要はまだ回復していません。このままでは、牛乳消費が落ち込む年末年始や春休みの学乳休止期に、全国の乳製品工場の処理能力を超える加工処理生乳の発生が危惧されます。大切な生乳生産基盤を維持するため、酪農乳業関係者一人ひとりの行動が必要です。

処理不可能乳を発生させてはけません!
年末年始に想定される処理不可能乳は「約5,000トン」です。

- 生産者の生産意欲の減退と、これまで業界一体となって強化してきた生乳生産基盤を損なう減産に直結する恐れ。
- 減産となると、コロナ後の需要回復に足らなくなるとともに、夏場の需要期を中心に生乳の不足基調がさらに強まる恐れ。
- 牛乳乳製品価格への影響や食品価格がとらえられ、業界のイメージ低下につながる恐れ。

全ての皆さまへ **まずは年末年始、毎日牛乳買いに行こう! #1日1L**

酪農家の皆さまへ	乳業メーカーの皆さまへ	指定団体および乳業メーカーの皆さまへ
● 不要期の一時的な生乳出荷抑制(12/27～1/18止)	● 製品における生乳使用率の引き上げ	● 両者が連携し、各乳業工場やクラスター・センターにおける貯乳能力のフル活用
早期(適正)処理・治療や出荷予定中の早期(繰上)出荷、全乳哺育や早期販売など、酪農経営や乳牛にダメージを与えない	● 乳製品工場のフル稼働	
	● 積極的な販促活動	

みんなでの難局を乗り越えよう
Jミルクも皆さまと共に行動します

一時的な生乳出荷抑制への取り組みを行う生産者への支援と、関係団体・乳業業者が実施する消費促進への取り組み支援をはじめ、Jミルクでも業界が一体となって取り組むための施策を推進します。

詳細はこちら(緊急説明会の動画あり)

JAグループ北海道

第30回JA北海道大会

11月16日
(火)札幌市中
央区共済ホー
ルで、第30回
JA北海道大会が開催され、氷見
組合長が代表して参加し、JA・
青年部・女性部の役員と各部長が
WebにてJA会議室から参加し
ました。

JAグループ
北海道全体で、
将来ビジョン実
現へ今後3年間
を展望し、意
識・目線を統一
させることが開
催の趣旨となり
ます。

基本目標1、
JA運営の好
循環に向けて
の実践につい
て

基本目標2、
JA運営を支
える基盤の強
化について
を確認した大会
となりました。

地域別懇談会

12月1日から3日までの3日間
地域別懇談会を開催しました。新
型コロナウイルス感染症拡大防止
の観点から、リスクを踏まえて最
小限の開催としていましたが、例
年行っていた10会場を2班編成で
各集団へ訪問の形へ戻ったの開催
となりました。JAからは、

- 堆肥化施設での農プラ受入
- 清水町用地交換
- 農業貯蔵施設取得計画
- 乳温記録端末の更新
- サポートセンター関連
- 企画室関係2件
- 農産部関係6件
- 畜産部関係 酪農情勢
- その他

について説明しそれぞれについて
質疑応答を行いました。

しるしる清水教室「農業」講座

令和3年度清水町中央公民館講
座として「しるしる清水教室」が、
10月17日(日)清水町文化センター
にて開催されました。

清水町に転入して3年以内の町
民を対象に全5回開催の内、第2
回の今回は「農業」をテーマに講
座が開催されました。当日は、文
化センターにて座学での説明のの
ち、町内の農場・牧場で現地見学
を行いました。受講者からは、「農
業や農協について知ることができ
とても勉強になりました」「子牛
が数カ月で大きくなることに驚き
ました」「間近で牛を見ることが
できていい経験になりました」な
どの声が聞かれ大変好評のうちに
終了しました。

無人ヘリコプターによる農薬散布

11月上旬、秋播小麦の雪腐病防
除のための無人ヘリコプターによ
る農薬散布を取りまとめに対応し
て行いました。

本年度は播種以降も管理作業は
比較的順調に進み、当初のヘリ防
除はおおむね予定通りでしたが、
防除後の降雨が多く、中旬に再度
散布を行う判断をされた方も多
く、追加防除の圃場も発生せざる
を得ませんでした。

令和4年産の良質小麦生産に向
け、収穫までの各種管理作業をコ
ストも考慮しながらできる対応
を行っていきましょう。

J Aバンク年金相談会

11月18日(木) 金融部信用貯金課主催の年金相談会が開催されました。(※写真①)

例年同様にJAバンクから社会保険労務士を派遣頂き、近く年金受給が始まる組合員はもちろん、町内へも新聞折込広告を用いて周知し、予約頂いた方が多数おられたことから、時間を定めて来協頂きました。

安心・安定した受給となるよう、参加者と社労士が、保険料納付状況など必要な情報を確認しながら、受給までの具体的な相談を行う事が出来ました。

J A青年部子供農作業体験

10月18日(月) JA青年部(澁谷耕大部長)は御影小学校の児童を対象に子供農作業体験を行いました。(※写真②)

当日は、御影小の3年生(児童23名+教員2名)に青年部員13名が対応し、佐藤章裕さんのてん菜圃場にて、収穫、機械の説明・見学、質疑応答を行いました。

収穫体験では、実際にてん菜を手作業で掘る作業を体験し、掘ったビートの大きさを競う等とても楽しそうに行っていました。

J A女性部むらさき会第2回研修会

『お花』と『ふまねっと』で心も身体もリフレッシュ

J A女性部むらさき会(佐藤恵子会長)は11月12日に第2回研修会を開き、会員18名が参加しました。(※写真③)

午前中は、会員から毎回好評を得ているオアシスを使った『お花』の研修会です。むらさき会では、すっかり定番となったこの研修会に、今回も平野真実さんを講師として迎えし、優しく、丁寧な指導を受けました。

参加者は、色とりどりのお花を自由に生けていき、時々「先生このお花はどこに生けたら良いですか?」と積極的に質問する様子も見られました。

午後は、むらさき会副会長の山本京子さんが講師となり『ふまねっと』で身体を動かしました。

最初は、簡単なステップを山本さんの掛け声に合わせて床に敷いた網を踏まないように進みます。前の移動だけだったステップから横の移動も加わるようになると「あっ!間違っちゃった!」「次は、どっちの足だっけ?」と皆さん頭を悩ませながら足を進めていました。

農薬の空き容器への支援

11月11・12日、清水町畜産研修センターにて、清水町農業廃プラスチック適正処理対策協議会主催による農薬空き容器の回収・分別・計量作業が行われました。(※写真⑥)

青年部も昭和50年代から手法に合わせて支援を継続しています。

当時は、古い容器が放置されないよう青年部員が庭先へ訪問し、洗浄済み容器を回収・集約し、業者に引き渡していました。その後廃プラ協議会主催となり、適正処



(写真①)



(写真②)



(写真③)



(写真④)



(写真⑤)



(写真⑥)



(写真⑦)

J A青年部・フレッシュシユミズ部会 合同冬期研修会

12月13日、JA青年部(澁谷耕大部長)とJA女性部フレッシュシユミズ部会(澤山あずさ会長)

理へ法改正も何度か行われ、平成17年には生産者が搬入し引き渡す現在の手法となり、青年部もこれに対処して取組んでいます。安全・安心・継続的な農業生産に必須の回収が今後とも安定して継続できるよう、組合員各位のご理解ご協力をお願い致します。

女性部加工サークル 2年振り活動を再開

11月30日(火)女性部加工サークル(佐藤幸江会長)は、昨年度コロナ禍で見合わせとなった五目の具作りを、感染対策に十分配慮しながら開催しました。(※写真④)

今回は5名の会員が集まり朝9時から作業を開始。大量に用意された材料を6回分に等分して調理していきます。食材の切込み、調味料の計量などを手際よく進め、調理台にどんどん用意されていく光景に、毎年参加している会員は「まるで給食センターだね」とおっしゃっていました。

大鍋で炒め味付けされた五目の具は、2人がかりで他の鍋に移し替えては煮込みを、材料がなくなると6回繰り返し、いつもの味が完成。今回も調理工程や味付けを教わる会員の姿もあり、サークル自慢の味が会員から会員へと受け継がれる様子が見られました。

J Aそよかせの会 ボランティア研修会

(ふまねっと)を開催

J Aそよかせの会(滝本和子会長)は、12月6日に研修会として『ふまねっと』を開催し、会員13名が参加しました。(※写真⑤)

ふまねっととは、全身のバランス感覚や認知機能の向上を目的としたもので、歩行機能改善や脳トレの効果も期待できる運動です。

当日は、そよかせの会 監事山本京子さんが講師となり、最初は簡単なステップからお手本を見せながら、「右足、左足」と床に敷いた網を踏まないように進みます。段々難しいステップになると「あれ?どっちの足?」と混乱される会員の様子が見られました。

童謡に合わせたステップを1人ずつ教えてもらい、間違えても声を掛け合い、笑い合いながら、明るく楽しい雰囲気での研修会を終えました。

いくことで必ず変わっていくこと」を強く話されていました。

最後の質疑応答の時間では、「谷口さんお勧めの電力会社はありますか?」や「私たち農業者にできることは何ですか?」など積極的に質問する会員の姿もみられ、とても有意義な時間となりました。

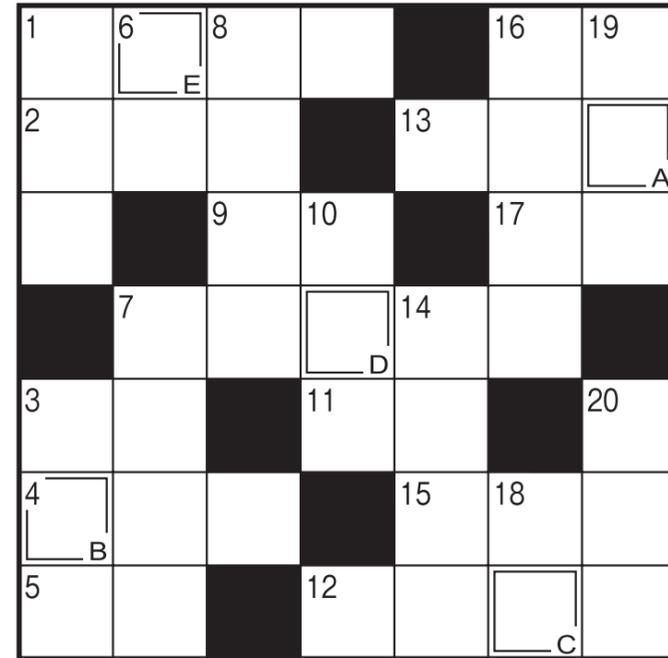
十勝清水の恵み給食週間
 10月25日(月)から29日(金)の1週間、町内の小・中学校向け給食へ清水産の多様な食材をふんだんに使った「十勝清水の恵み給食週間」が行われました。
 清水町蔬菜振興会からは、白菜キャベツ部会とブロッコリー部会がそれぞれ白菜10キロ×8ケース(27日と29日に使用)、ブロッコリー6キロ×8ケース(28日に使用)を提供し、十勝若牛生産組合からもいつもの100グラムよりかなり大きな150グラムのハンバーグを800人前提供しています。

小学校へ取材した木曜日は、ごはん・十勝若牛ハンバーグドミソソース・ブロッコリーのポン酢和え・コーンクリームスープ・あすなるムース・牛乳と、盛りだくさんのメニュー。
 清水小学校1年生の教室で給食を食べた子どもたちにお話を聞くことが出来ました。「ハンバーグが大きい!ステキみたい!」「良い香り!」「おいしい!」と大喜び。いつもおいしく楽しい給食の「十勝清水の恵み給食週間」でも、清水産の食材が大活躍でした。

令和3年 10月の献立		清水町学校給食センター	
月	火	水	木
<<十勝清水の恵み給食週間>> 10月25日～10月29日は今年最後の十勝清水の恵み給食週間です!使用する清水産の食材は、卵、小麦(はるきらのり)、じゃがいも、毎月頂いているコスモスファームの牛肉、白菜、十勝若牛、ブロッコリー、大豆、あすなるムース(牛乳)です。十勝若牛生産組合よりいつもより大きなハンバーグを頂きました!味わっていただきますよ!			
4日	5日	6日	7日
牛乳	牛乳	牛乳	牛乳
和風スパゲティ	和風スパゲティ	和風スパゲティ	和風スパゲティ
25日	26日	27日	28日
十勝清水の恵み給食週間			
牛乳	牛乳	牛乳	牛乳
親子丼	はるきらのりパン	ショア	ごはん
小松菜の辛し和え	ホキのかりかりフライ	ちくわの磯辺揚げ	ごはん
切干大根のみそ汁	ツナサラダ	人参のごまみそ和え	きつねうどん
鶏肉(鶏) ツナ あげ	ミルクフォンデュ鍋	コスモスファームの牛すき焼き	かぼちゃ団子の小豆煮
ごはん	水キ ッツナ 鶏肉	(牛乳) ちくわ 煎き豆腐	ごはん
菜種油	菜種油	菜種油	菜種油
牛乳	牛乳	牛乳	牛乳



口田部会長と近藤部会長から給食センターへ



クイズの答えを解答用紙に記入し、ファックスするか直接JAにご持参ください。正解者の中から抽選で5名の方に記念品を差し上げます。ご応募お待ちしております。(締切 1月30日)

11月号 (No. 352) の答え



→ ヨコのカギ

- ① 1月の第2月曜日はーの日。国民の祝日です
- ② 旅支度で、旅行かばんにーを詰めた
- ③ 下手な鉄砲もー撃ちゃ当たる
- ④ 北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
- ⑤ 水が混じって軟らかくなった土
- ⑦ これが三つで三振
- ⑨ 土を盛り上げて作ります
- ⑪ 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
- ⑫ 「住めば都」とか「猫に小判」とか
- ⑬ 果物ーを使ってリンゴをむいた
- ⑮ 遠回りをすること
- ⑯ 初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
- ⑰ やっぱり自分のーが一番落ち着くなあ

↓ タテのカギ

- ① オイルショックともいわれるー危機
- ③ 分度器で測ります
- ⑥ 栗の実のトゲトゲ
- ⑦ 春の七草の一つ。ダイコンのことです
- ⑧ 遊園地でーコースターに乗った
- ⑩ おでんに添える黄色い薬味
- ⑭ 年下の女きょうだいのこと
- ⑯ 屋外で行うことも多い教科
- ⑰ ミカンのものは手でむけます
- ⑲ おしゃれなーでランチを楽しんだ
- ⑳ 「オリオン」「おいしいぬ」「カシオペア」といえば

表紙の写真は....

下佐機協心 白石 哲也さんの圃場で、ながいも収穫の様子です。作物にも、働く人にも、機械にも、土にも、本当にやさしく収穫出来る仕組みが出来上がっていると感じました。



11月号 (No. 352) あたまの体操 当選者発表

当選者は 下美蔓2 村中真由美さん 人舞5 高橋 小春さん
 本村 鳥羽 耀己さん 柏木 田宮トモ子さん
 人舞5 大口 欣也さん の5名です。

おめでとうございます。 十勝清水



今月の職員さん



くらうち
倉内 みどり 職員

最近の出来事

『半年ぶりにバドミントンをして
全身筋肉痛になりました。』

◆所属部署・担当業務
農産部 農産課

◆趣味・特技
バドミントン

◆自分はこの人です！
負けず嫌い
..... 短気かも

◆上司からの一言（安田審査役より）

入組してから早くも10年、農産課青果部門担当として野菜を中心とした受入業務、精算業務や野菜振興会の各部会運営組織の補助業務を担当してもらっています。

アスパラ、ブロッコリーの選果期間中につきましてはパート職員へ作業の指示もしています。仕事熱心で芯の強いところがあり、与えられた仕事は適確にこなすので、生産者にはとても信頼されています。

入組前には市場職員として、長く野菜業務に係わってきた知識と経験を生かして頑張りたいと思います。

(来月の職員さんは 川津千佳 職員です。)

今月のメニュー

シェフ永井のおすすめ

洋風ブリ大根

材料（4人分）

ブリ（塩を薄く振り1時間ほど置き、水気を拭いておく）…切り身4切れ
ダイコン（2cm幅のいちょう切りにして下ゆでする）…1/4本
ゴボウ（乱切りにして水にさらしておく）…1本
ホールトマト…100g
ニンニク（つぶしておく）…1片
オリーブ油…大さじ2
ローリエ…1枚
モロッコインゲン（下ゆですて食べやすい大きさに切っておく）…2本
パルメザンチーズ…適宜
A（合わせだし汁）かつおだし…600ml・塩 …小さじ1
料理酒…大さじ3・みりん…大さじ3

作り方

- ① フライパンにオリーブ油をひき、ブリ、ダイコン、ゴボウ、ホールトマト、ニンニクを入れ、中火でブリの両面を焼き上げる。
- ② ①のフライパンにAとローリエを入れ、落としぶたをして強火で煮汁がなくなるまで煮詰める。
- ③ 皿に②を盛り付け、パルメザンチーズを掛けてモロッコインゲンを飾り出来上がり。



永井智一（ながい・ともかず）
茨城県笠間市にある「天晴（旧キッチン晴人）」
オーナーシェフ